

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 きだ整形外科クリニック	代表者	江端 雄飛	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域の中で自宅での自分らしい生活が送れるよう、心身の状況や希望、おかれている環境を踏まえ「通い」「泊り」「訪問」のサービスを組み合わせながら支援をしています。在宅での生活を続けるために利用者のみならず、家族の要望や「小さな困りごと」に着目しながら支援させていただいています。また手を出し過ぎることがないように利用者一人一人のできること・持っている力を大切に、日々の生活の中で利用者自身が役割を持って生活できるような環境づくりを心がけています。
事業所名	ケアサービス ふたくち屋	管理者	松山智恵子		

回答者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	人	1人	人	人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	一年に一度、自己評価を行い、事業所全体でケアの振り返りを行う。	自己評価し、振り返りを行った。	特にコメントはなかった。	一年に一度、自己評価を行い、事業所全体でケアの振り返りを継続する。
B. 事業所の しつらえ・環境	今後も職員の明るく気持ちの良い挨拶と、親しみある振る舞いを意識し継続する。	事業所内、外部の方々問わず、専門職として明るく親しみある振る舞いを、意識し行動した。	特にコメントはなかった。	事業所玄関先のしつらえ、環境整備を心掛け、今後も職員の明るく気持ちの良い挨拶と、親しみある振る舞いを意識し継続する。
C. 事業所と地域のかかわり	感染症予防に十分努めながら、町内や地域からの依頼に応じ、協働する。また、感染状況を見ながらイベント等の情報共有や参加を再開する。	少しずつ参集する機会も増えてきたため、管理者だけでなく現場スタッフも含め、イベントへ参加していける体勢を整えた。	特にコメントはなかった	事業所全体で、町内や地域イベントへの参加、依頼に応じられる体制を整える。また、事業所外で求められる役割や期待を理解して参加できるよう心掛ける。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを ささえる取組み	今後も、地域の方々やあんしん相談と連携し、利用者の生活支援に必要な話し合いや情報共有の機会を持つ	まず、利用者の日常的な活動情報を収集し、事業所内で共有。利用者の「生活課題」だけでなく、「強み」を周知し、必要時に地域やあんしん相談と連携していく。	特にコメントはなかった。	今後も、利用者の暮らしを支えるための情報収集や情報共有を継続し、必要に応じて地域の方々や、あんしん相談センターと連携、協働する機会を持つ。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	1年間の事業所の活動報告をDVDにまとめ、運営推進会議等の機会を通し、報告する。	活動状況をDVDにまとめていたが、地域への報告ができる機会がなかった。	DVD 報告という形式は、気軽に日頃の様子がわかりやすい。続けてほしい。	1年間の事業所の活動報告をDVDにまとめ、運営推進会議等の機会を通し、報告する
F. 事業所の 防災・災害対策	避難訓練実施予定は地域の方々にお知らせし、協働できるよう実施継続する。町内会と連携しやすい防災計画を模索していく。	避難訓練実施予定の発信は行ったが、役割や連携について計画を立てるまでは行えなかった。	実際に災害が発生した際、どのように連携、協働していくか具体的に話したい。	災害時、町内との連携や、役割を明確にする機会を設け、より実践的な避難計画、避難訓練を模索する。